

第5回

徳島県介護支援専門員実践研究大会

本実践研究大会では、介護支援専門員一人ひとりが高いプロ意識を持って地域マネジメントや利用者の自立支援に資するケアマネジメントの実践に繋げることを目的として開催します。

今回は、人生の最終段階における意思決定支援について考えたいと思います。

自分らしい生き方を求めている人はたくさんいるにもかかわらず、人生の最終段階において自分の意思決定ができない人が大勢いると言われています。

そのような中で私たちはどのようにケアマネジメントを行っていくべきか共に学び考えていきたいと思いをします。



日時：令和4年3月14日（月）10時～15時30分

場所：ときわプラザ（アスティとくしま）& オンライン

基調講演：「人生の物語いを支えるアドバンスケアプランニング」

講師：香川県立保健医療大学
教授 片山 陽子 先生

【プロフィール】

訪問看護ステーション訪問看護師・管理者を経て、居宅介護支援事業所の管理者を兼務する傍ら、平成15年に修士課程を修了（看護学修士）、平成17年より香川大学医学部看護学科の助教となる。平成19年に大学院博士後期課程修了（保健学博士）、ブリディッシュ・コロンビア大学にてポスドク研究員を経て、平成25年より香川県立保健医療大学保健医療学部看護学科に所属し、現在は教授・看護学科長を務める。

主な研究テーマとしては、「意思決定支援、アドバンス・ケア・プランニング」や「エンド・オブ・ライフケアにおける看護師の役割」など。

詳しくは協会ホームページをご確認ください

<https://cma-tokushima.com/>



申込QRコード



【お問合せ：徳島県介護支援専門員協会（TEL:088-678-4200）】